

公開文書

令和 5 年 6 月 15 日 （臨床研究に関する公開情報）

水戸医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

高エネルギー外傷に伴う胸腰椎椎体骨折に対する安静臥床期間を設けない保存治療に関する前向き観察研究

[研究責任者] 水戸医療センター 医師 江藤文彦

[研究の概要]

骨粗鬆症のない青壮年期における胸腰椎椎体骨折に対する保存治療では慣例的に3-4週間の安静臥床期間が設けられています。先行研究では疼痛に応じて2週間以内に離床できた症例と離床が2週間以降になった症例を比較して治療成績に差がなかったという報告がありますが、安静臥床の必要性について確立した見解はありません。

保存治療の適応となる胸腰椎椎体骨折において、安静臥床を要せずに良好な臨床成績が得られれば従来の長期安静による治療と比較して入院期間の短縮、医療費の削減、床上安静に伴う全身合併症の低減につながると考えられます。

そこで、本研究では高エネルギー外傷に伴う胸腰椎椎体骨折に対して安静臥床期間を設けずにジュエット型体幹装具を装着して離床するプロトコルで保存治療を行います。なお、保存治療を進める中で疼痛の増強、神経症状の出現、画像所見の悪化がみられた際には随時治療方針を変更して適切に対応いたします。

[個人情報の取扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、個人を直接特定できる情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先] 国立病院機構水戸医療センター 小川健
電話 029-240-7711 FAX 029-240-7788